

令和3年度糸満市ふるさと応援寄附金活用事業 実績報告書

事業名 糸満市水産業振興センター(仮称)施設計画業務

1. 事業概要

糸満市字喜屋武地区に予定されている「糸満市水産業振興センター(仮称)」設置事業において本業務は、沖縄県及び糸満市の水産業振興の活性化を図るため、沖縄県水産海洋技術センターとの連携、水産業イノベーション(起業支援)の創出を目的に糸満市水産業振興センター(仮)を設置するものである。また、平和の道線の計画が予定されており、水産業の6次産業化による特産品の提供、拠点づくりを目指す計画である。

また、過去の海ぶどう実証実験の成果を踏まえて、養殖整備について規模の検討を行う。

2. 養殖施設の検討

1. 過年度で作成した「糸満市水産業振興センター(仮称)第2次事業実施計画書」で提示された配置、平面、断面を整理し、建設費用削減案の検討を行った。
2. 養殖施設への太陽光発電の導入を検討し、施設光熱費の削減を図る。

3. 検討結果

1. 施設配置の再検討を行い、建築費の削減を実施できることが分かった。(図1)
 - ・緑地帯の削除により、東側に車両展開の空間を確保した。
 - ・管理棟を養殖と一体化し、施設建設費の削減を図りかつ、衛生面を確保した。

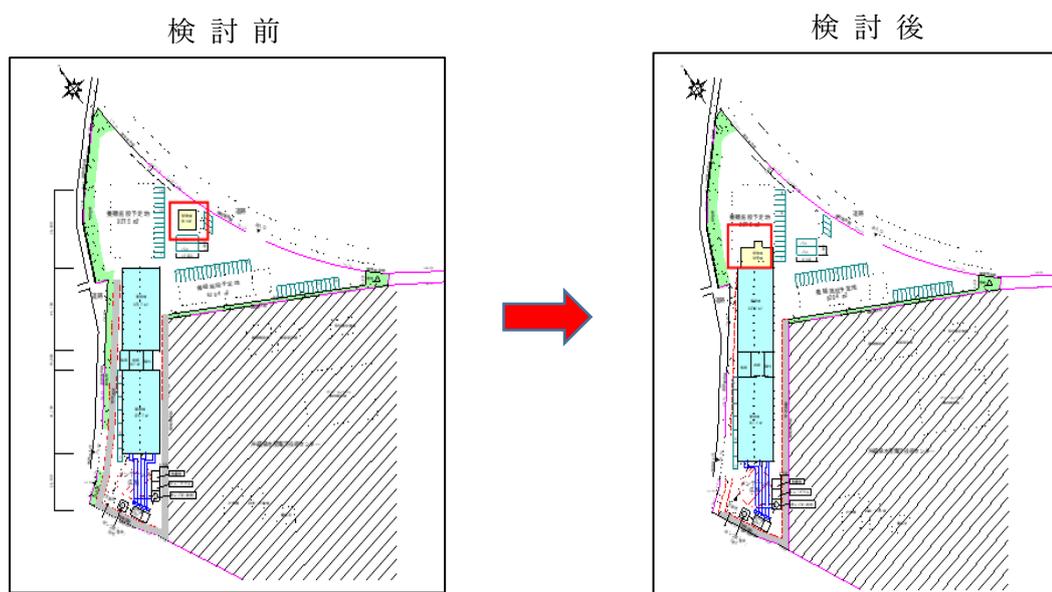


図1. 養殖施設規模の検討



図 1-2. 養殖施設規模の検討

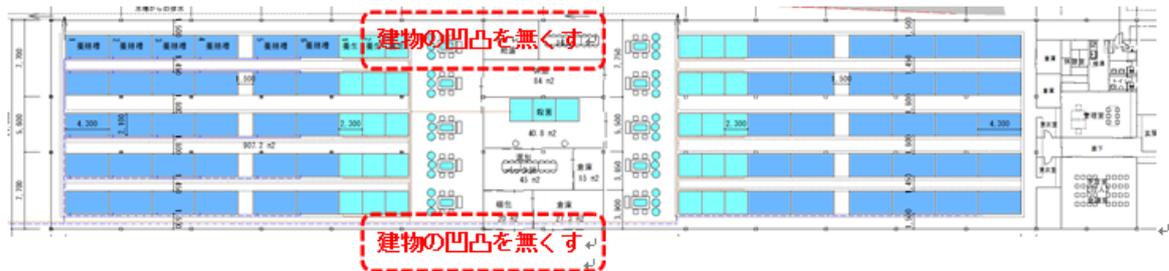


図 1-3. 養殖施設規模の検討

2. 太陽光発電の導入については、敷地への太陽光パネル設置や養殖施設の屋根のシースルーパネル設置も検討したが、設置費用に 16.5~22.2 万円/m² のコストがかかるため、今回の施設整備において、太陽光パネルの設置については不向きであるとの判断に至った。
(図 2)

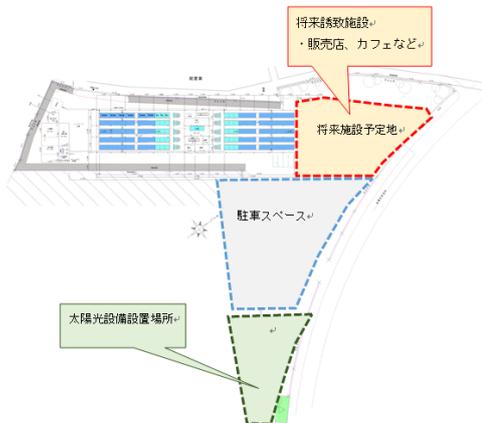


図 2-1. 太陽光発電設置案

	T-Green Multi Solar シースルー	薄膜シースルー	結晶系ライトスルー
写真			
効率 (開口率)	7~10% (50%)	7%, 5%, 3% (10%, 30%, 50%)	5% (50%)
保証内容	出力30年	出力10年	10年~20年
サイズ (mm)	サイズ・厚み共に 自由設計可	1,200×998×10 ※分割・組み合わせによる サイズ対応	サイズ・厚み共に 自由設計可
備考	・大成建設社とカナカの 共同開発商品 ・透光性・採光機能・出力 を確保した製品	・採光機能と透光性を両立 させた製品 ・2000年代初頭より 販売し、多数の実績あり	・透光性は欠けるが、 採光機能を有した製品 ・シースルーと同様に長い 販売歴史を有している

図 2-2. シースルーパネル

4. 今後の計画について

過去の実証実験によって、海ブドウの養殖に「高濃度 CO2 海水」と「IoT 技術」を活用した養殖方法において、高品質な海ブドウが育成できる事が確認できております。

しかし、養殖施設の整備については、取水方法や海水温の安定化など、解決すべき課題がありますので、今後とも引続き調査・検討を行い、糸満市水産業振興センターの事業化へ取り組んでまいりたいと考えております。

皆様の応援のおかげで、海ブドウ養殖施設の事業化へ向けて、施設計画業務を実施することができました。

今後とも糸満市の水産業にご協力の程宜しくお願い致します。

ご支援ありがとうございました。

事業名 糸満市水産業軽石被害対策事業

1. 事業目的

令和3年8月小笠原諸島での海底火山噴火で発生した軽石により被害を受けた漁業者に対して水産業振興を推進する糸満漁業協同組合を通して、糸満市水産業軽石被害対策事業補助金を予算の範囲内で経済的支援を実施することを目的とする。

2. 事業対象者

糸満漁業協同組合に所属する糸満地区の漁業者

3. 軽石対策事業内容

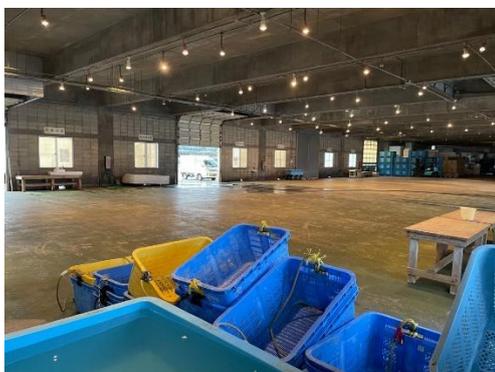
- 1.漁船のフィルター等の修繕費の支援
- 2.漁業者に対しての経済的支援



4. 事業実績報告

糸満漁業協同組合の理事会において、糸満地区の正組合員に対して均等に配分の決議を受けて、糸満漁業協同組合より正組合員に対して、経済的支援を実施いたしました。

【糸満漁港セリ市場】



令和3年10月時点



令和4年3月現在

糸満市独自の軽石被害に関する「ふるさと納税型クラウドファンディング」を令和3年11月26日から令和4年1月11日まで実施した結果、目標額を超える支援を皆様の応援のおかげにより、達成することができました。

現在は漁業者も順調に操業に復帰しておりますので、今後とも糸満市の水産業にご協力の程宜しくお願い致します。

ご支援ありがとうございました。

事業名 糸満市特産飲料等開発・販路構築事業

糸満市ふるさと応援寄附金充当額：11,264,165 円

糸満市商工水産課では、「海人文化のまち糸満」のイメージを外部に伝えるコミュニケーションツール等として、糸満で提供される海産物料理とのペアリングに特化した飲料を開発しました。

1. クラフトビールの開発

「魚を食べる日には絶対に手を伸ばしたくなるクラフトビール」をコンセプトに、2 製品を開発しました。

(※製品の公表は5月下旬ごろを予定しているため、ラベルデザイン等について現時点ではお伝えすることができかねますので予めご了承ください。)

ブランド名：ITOMAN/S (イトマンズ)

製品名：①“Taman” SALT&LEMON SOUR KOLSCH

(タマン ソルトアンドレモンサワーケルシュ)

製造本数：2,272 本 内容量：330ml アルコール分：5 %

②“Akamachi” TROPICAL RED SOUR IPA

(アカマチ トロピカルレッドサワーアイピーエー)

製造本数：2,324 本 内容量：330ml アルコール分：5 %

ブランド名は、市名と、海人文化に関連するキーワードの頭文字「S※」から命名しました。(※サバニ、シンカ、魚、刺身、海 (SEA) など)

また、商品名は糸満で水揚げされる彩り豊かな魚の名前から命名し、ビアスタイル名を併記しています。

“Taman”には糸満産のレモンや海塩、レモングラスを、また“Akamachi”には糸満産のドラゴンフルーツ、パッションフルーツ、アセロラを使用しております。



2. パンフレットの作成

販路開拓のツールとして、上記製品のパンフレットを作成しました。撮影には市内の写真家や飲食店に協力していただき、糸満漁港を背景にした製品写真等を掲載しました。

3. テストマーケティング調査の実施

開発した製品を、事業者向けと一般消費者向けにそれぞれ Web 形式のテストマーケティング調査を実施しました。その結果、事業者向け 94 件、一般消費者向け 215 件の回答が得られ、市内・県内・県外における当該製品の評価傾向について分析することができました。本調査結果は今後の展開に向けて有効活用して参ります。

(参考：一般消費者回答 215 件の属性内訳 ※1.はメールアドレスのため省略)

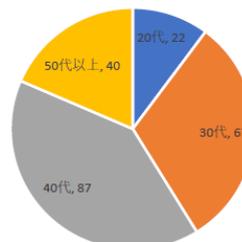
2. 性別

(男性122名 女性93名)



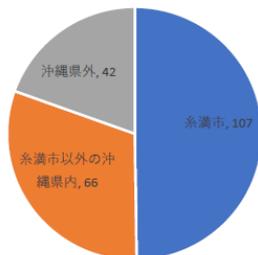
3. 年齢

(20代：22名 30代：67名 40代：87名 50代以上：40名)

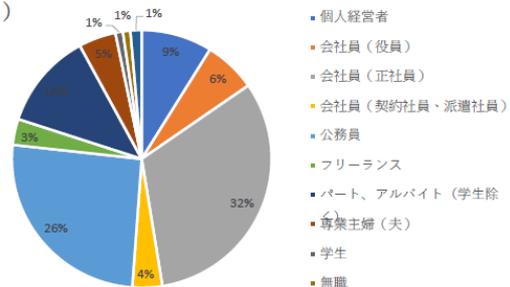


4. お住まいはどちらの地域ですか？

(糸満市：107名 糸満市以外の沖縄県内：66名 沖縄県外：42名)



5. 職業を教えてください。



本事業で開発した製品の一般販売は5月下旬頃を予定しております。またふるさと納税返礼品の対象品目としていく予定でございますので、引き続き糸満市を応援くださいますようお願いいたします。

事業名 糸満市こども文化芸術事業（糸満市市制施行50周年記念事業）

皆様より寄せられたご寄付を、生涯学習課文化振興係では「糸満市こども文化芸術事業」の脚本作成に活用させていただきました。市外から糸満市を応援してくださる皆様に感謝しております。ありがとうございました。

1. 事業概要

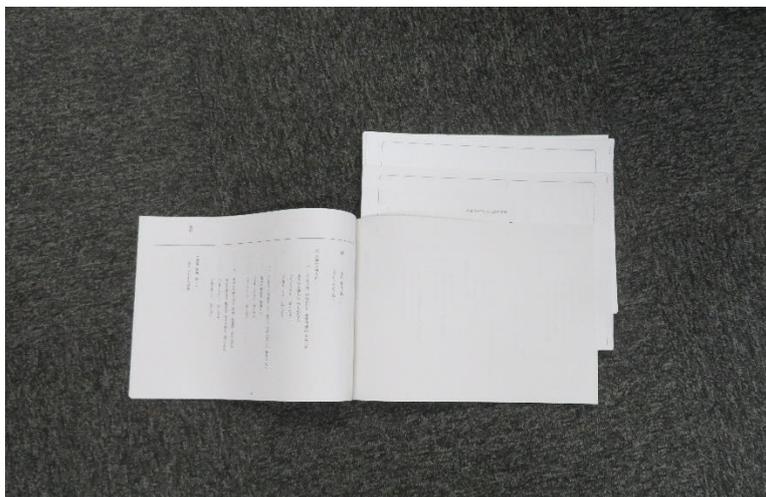
令和4年度にグランドオープンが予定されている糸満市観光文化交流拠点施設の開館に向けて市民の機運を高め、児童生徒が文化芸術に親しむ機会を設け、同施設開館後の利活用の促進、併せてその成果を本市の文化・芸術の振興につなげ、創造性豊かな地域づくりの推進と、指導者の育成を図ることを目的とする。

2. 事業報告

糸満市市制施行50周年を記念し、市内在住の演出家に依頼し、糸満市をテーマとした脚本の制作を依頼しました。

3. 事業成果

糸満市の基本理念である、ひかりのまち、みどりのまち、いのりのまちをテーマとし、明るく希望の持てる舞台となるような脚本を作成していただきました。演出家と脚本の打ち合わせを行うことで、糸満市の文化資源の掘りおこしにつながりました。



成果品……………脚本10部

事業名 民俗文化財記録作成事業

糸満市教育委員会では、皆様より寄せられたご寄付を、「サバニ等実測図化業務」に活用する事ができました。市外から糸満市を応援して下さる皆様に感謝しております。ありがとうございます。

1. 事業概要

糸満海人の象徴である「サバニ」は、近年の漁法の近代化等により伝統技術による新造船は激減し、サバニ製造技術者の持つ伝統技術は消滅の危機に瀕しています。

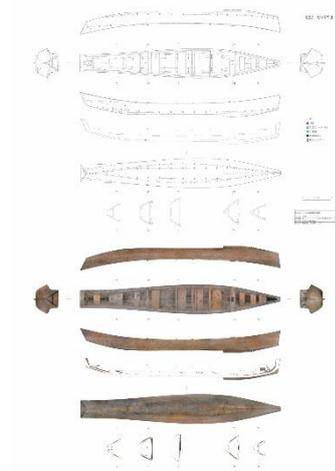
本事業では、伝統的なサバニ製技術の保存と継承を図るため、市内に存する伝統技術によるサバニ3艘及び櫂（ウェーク）4本と、製造技術を比較するためにサバニの原型といわれる丸木舟1艘（琉球大学博物館 風樹館所蔵）の三次元データ等・陰影図を作成しました。

2. 事業報告

① 内容

事業名	民俗文化財記録作成事業（サバニ等実測図化業務）
業務期間	令和3年6月7日～令和3年8月31日
業務場所	NPO法人ハマスーキ、琉球大学博物館（風樹館）、受託者施設
業務内容	1、NPO法人ハマスーキ所蔵資料の三次元データ及び陰影図作成 ①サバニ3艘 ②櫂（ウェーク）4本 2、琉球大学博物館（風樹館）所蔵資料の三次元データ及び陰影図作成 ①丸木舟1艘

② サバニ等の図化



3. 事業成果

これまでのサバニの図化等については、手書きのスケッチ類が多く、製造技術等の調査や復元を行うには詳細が不明な点が多く、不向きでした。本事業により、今後のサバニの製造技術の調査・研究及び文化財指定等に向けての基礎資料を得ることができました。

その他 21 事業を実施しました。

- ・地域活性化支援事業
- ・第3次糸満市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)策定委託業務
- ・動物愛護管理推進事業
- ・スマート農業機器導入事業
- ・地場産品販路拡大支援事業
- ・運動公園施設整備事業
- ・姉妹都市・友好都市青少年交流事業
- ・自治公民館連携推進事業
- ・なかゆくいロビーコンサート
- ・糸満市伝統芸能継承事業
- ・スポーツ推進計画策定事業
- ・聖火リレー・聖火フェスティバル推進事業
- ・ふるさと応援寄附制度推進事業
- ・市政要覧等作成事業
- ・糸満市男女共同参画計画推進事業
- ・平和の語り部育成事業
- ・平和都市宣言の塔修繕事業
- ・ひめゆり資料館入館券配布事業
- ・文化交流・情報発信拠点施設有効活用調査事業
- ・新しい公共交通検討事業
- ・観光危機管理計画策定事業

皆様の温かいご寄付を活用させていただきました。

ありがとうございました。